もくじ

はじめに・・・・

このたびは32インチ液晶テレビをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の際には、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。また取扱説明書及び保証書は必要時にご利用いただけるよう、紛失することのないように大切に保管して下さい。

■ 付属品のご確認

本製品を初めてご使用される際は、付属品が全てそろっているかをご確認下さい。万一、付属品がそろっていない場合は販売店もしくは株式会社ゾックスにご連絡下さい。

本体	電源ケーブル	取扱説明書
リモコン	AVケーブル	仮保証書

※付属のリモコン用電池は動作確認用として使用して下さい。

■ 仮保証書の取扱いに関して

付属品に含まれている保証書は仮保証書となります。お客様のお手元に本保証書が届くまで大切に保管していただきますようお願いいたします。
商品到着日より1週間以上経過しても本保証書が届かない場合は、取扱説明書36ページのゾックスダイレクトショッピングサポートセンターまでお問い合わせ下さい。
本製品の保証期間は1年間となります。保証書に記載されている保証規定をよくお読みいただき正しくご使用下さい。

■ あらかじめご了承いただきたいこと

●本書の内容または本製品の仕様・外観・価格等については将来予告なしに変更することがあります。
●本書の内容の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは著作権法上、当社に無断ではご使用できません。
●本書の内容に関しまして、万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不明な点や誤り等お気付きの点がございましたら、株式会社ゾックスまでご連絡下さい。
●本製品の使用により生じた損害、逸失利益または、第三者からのいかなる請求につきましても当社では一切の責任を負いません。
●地震や雷等の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷などの損害に関しましては当社では一切の責任を負いません。
●取扱説明書や本体に表記されている注意事項を尊守されないことによって生じた故障や損傷などの損害に関しましては当社では一切の責任を負いません。
●接続機器との組合せによる誤作動などから生じた故障や損傷などの損害に関しましては当社では一切の責任を負いません。
●故障・修理・その他の理由に起因する損害及び、逸失利益につきまして当社では一切の責任を負いません。
●保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等は当社では一切の責任を負いません。
●本製品は、一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用としてのご使用には対応いたしておりません。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずよくお読みになり、正しく安全にお使い下さい。

■安全に関する共通的な注意

次に記載されている安全上のご注意をよくお読みになり、正しく安全にお使い下さい。
●操作を行う際は本書の指示や手順に従って下さい。
●テレビ本体や説明書に記載されている注意事項は必ず守って下さい。誤った使用方法や操作等を行った場合、火災や本体の故障・損傷または身体に多大な影響を及ぼす場合がございます。

● 表示の説明

⚠ **警告**　使用者が死亡、または重傷を負うおそれがあることを示しています。

⚠ **注意**　使用者がけがをしたり物的な損害を受けるおそれがあることを示しています。

● 記号の説明

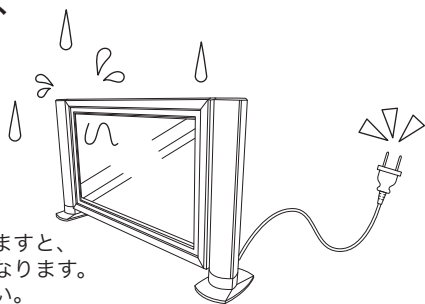
● 「しなければならないこと」を示しています。

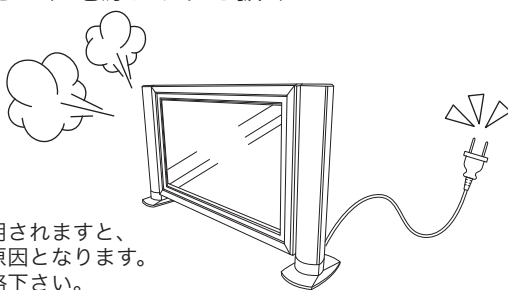
 「してはいけないこと」を示しています。

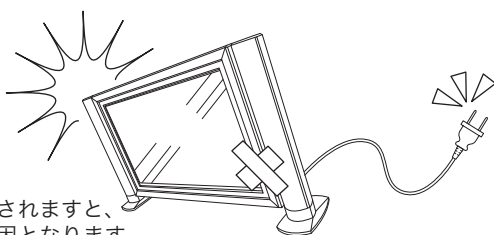
⚠ 「気をつけること」を示しています。

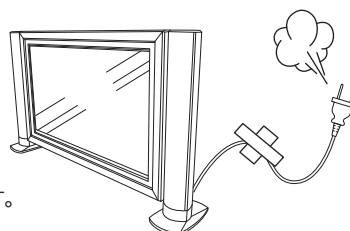
⚠ 警 告

内部に水や異物などが入ったときは、電源プラグを抜く

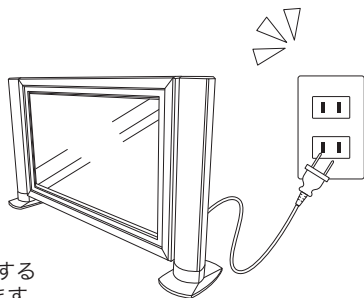
そのままご使用されますと、
火災や感電の原因となります。
販売店にご連絡下さい。

煙が出たり、異常なにおい、音などが発生したときは、電源プラグを抜く

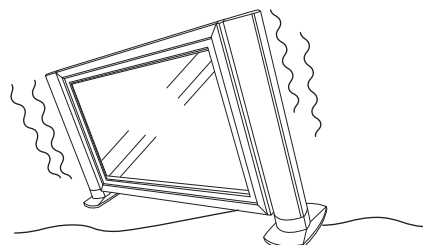
そのままご使用されますと、
火災や感電の原因となります。
販売店にご連絡下さい。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

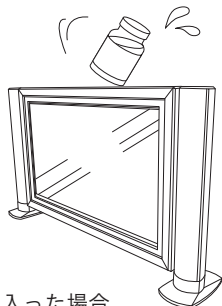
そのままご使用されますと、
火災や感電の原因となります。
販売店にご連絡下さい。

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグを抜く

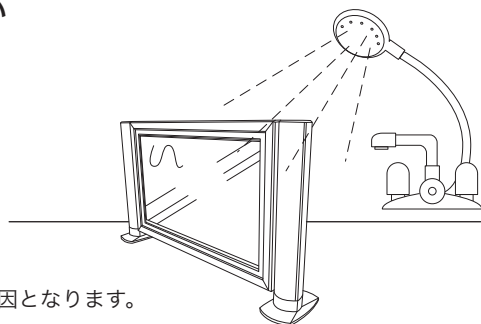
そのままご使用されますと、
火災や感電の原因となります。
販売店にご連絡下さい。

安全上のご注意

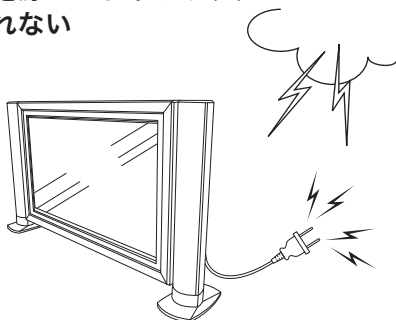
警 告

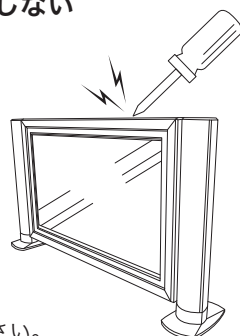
電源は交流100Vをご使用下さい

交流100V以外の電源を使用する
と火災や感電の原因となります。

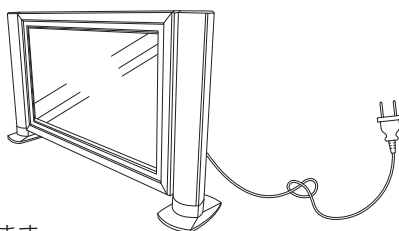
不安定な場所には置かない

落ちたり倒れたりして、
けがや故障の原因となります。

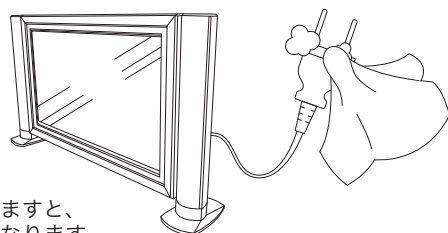
テレビの上に物を置かない

金属類や、花びんなどの液体が内部に入った場合、
火災や感電の原因となります。

浴室や屋外など、水のかかる場所には置かない

火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源コードやプラグ、アンテナ線などに触れない

感電の原因になります。

テレビの修理や改造、分解はしない

内部には電圧の高い部分があるため、
感電の原因となります。
点検、修理などは販売店にご連絡下さい。

電源コードは、傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、無理に曲げたり、束ねたりしない

火災や感電の原因になります。
電源コードが傷んだら、販売店にご連絡下さい。

電源プラグの刃やその付近にほこりや金属物が付着しているときは、乾いた布で取り除く

そのままご使用されますと、
火災や感電の原因となります。

注 意

温度や湿度の高い場所、ほこりの多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

火災や感電の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃をあたえない

液晶画面パネルが割れて、けがの原因となることがあります。

通気孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードやプラグが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

移動をするときは、接続している線をすべてはずす

電源コードが傷ついたり、テレビが転倒してけがや故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

感電や火災の原因になることがあります。

指定以外の電池や古い電池と新しい電池を混ぜて使用しない

液漏れ、破裂などによりやけどやけがの原因となることがあります。

電池を入れるときは、＋と－をよく確認する

液漏れ、破裂などによりやけどやけがの原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

お手入れをするときは、アルコールやベンジン、シンナー等は使用しない

キャビネットが変形したり、塗料がはげたりすることがあります。

本体各部名称

■本体正面

ZTYP3
リモコン受光部
左スピーカー
電源ランプ
待機中：赤色点灯
受像中：緑色点灯
右スピーカー
p.10 本体ボタン部
主電源
入力切換
メニュー
▼チャンネル▲
◀ 音 量 ▶
スタンバイ
主電源 p.14
I：入
O：切
入力切換ボタン
ビデオ入力を切換える
メニューボタン
メニュー画面を表示する
チャンネルボタン
（▲／▼）
スタンバイボタン
（入／切）
音量ボタン
（◀／▶）

本体各部名称

■本体背面

右スピーカー入力
左スピーカー入力
ビデオ2
映像入力
音声入力(右／左)
右スピーカーへ
(出力)
HDMI入力
PC入力
PC音声入力
コンポーネント入力(Y／Pb／Pr)
S映像入力
映像入力
音声入力(右／左)
ビデオ1
音声出力（右／左）
D1～D4映像入力
音声入力(右／左)
アンテナ入力
左スピーカーへ
(出力)
電源
AC 100V

リモコン各部名称

■リモコン

- **電源ボタン** p.14
  電源を入／切する
- **オフタイマーボタン** p.15
  指定時間後に電源を切る
- **消音ボタン** p.14
  一時的に音声を消す
- **ダイレクトチャンネルボタン** p.14
  直接チャンネルを選ぶ
- **入力切換ボタン** p.14
  映像入力を切り換える
- **CATVボタン** p.14
  CATVチャンネルを選択する
- **音声モードボタン** p.15
  音声モードを選ぶ
- **映像モードボタン** p.15
  映像モードを選ぶ
- **メニューボタン** p.21
  メニュー画面を表示する
  ◫ ボタン
  メニュー画面を閉じる
- **チャンネル(+/−)ボタン** p.14
  チャンネルを選ぶ
  ▲/▼ボタン
  メニュー画面で設定をする
- **音量(+/−)ボタン** p.14
  音量を調整する
  ◀/▶ボタン
  メニュー画面で設定をする
- **3Dボタン** p.15
  疑似サラウンドを入／切する
- **表示ボタン** p.15
  見ているチャンネル番号を表示する
- **音多切換ボタン** p.15
  音声多重放送を切り換える

PIP機能

- **スワップボタン** p.16
  メイン／サブ画面を入れ替える
- **サイズボタン** p.16
  PIP画面サイズを変更する
- **優先切換ボタン** p.16
  メイン／サブ画面の
  操作優先画面を切り換える
- **位置ボタン** p.16
  PIP画面の表示位置を変更する
- **PIPボタン** p.16
  PIP画面を設定する

リモコン上の表示：電源　オフタイマー　消音　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12　0　CATV　入力切換　音声モード　映像モード　メニュー　チャンネル＋　音量−　音量＋　チャンネル−　表示　音多切換　3D　PIP　スワップ　サイズ　位置　優先切換　PIP

Oivel
ZTO-5102

● リモコンの準備

① 指で△の部分を押さえながら、
矢印の方向に押して下さい。

② ＋と−を間違えないように入れて下さい。

※ 単４形乾電池２個使用です。
※ 新しい電池と古い電池や、種類の違う電池を混ぜて使用しないで下さい。
※ １ヶ月以上使用しないときはリモコンから電池を取り出してください。
※ 付属のリモコン用電池は動作確認用として使用して下さい。

スピーカーの接続

■本体背面

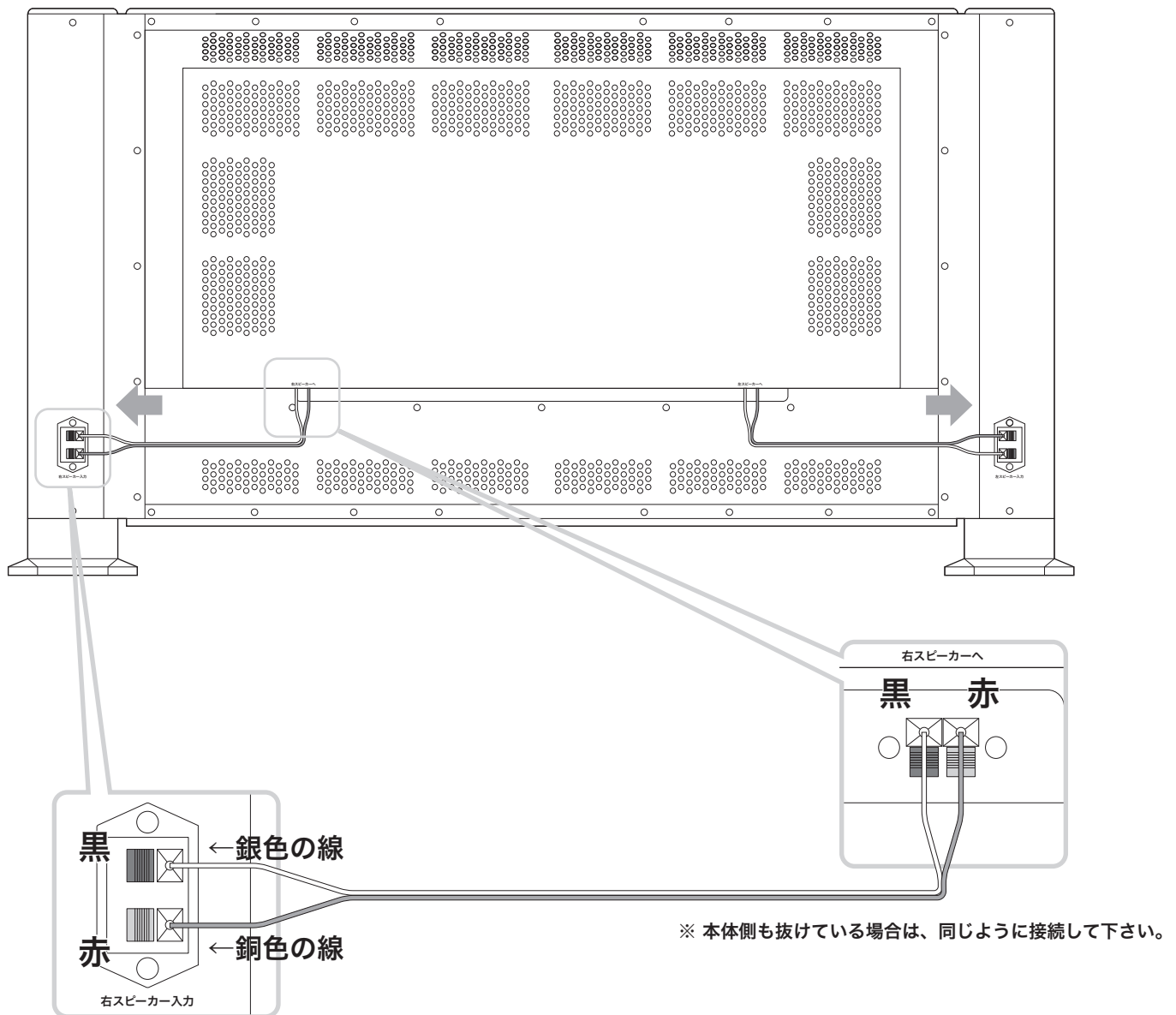
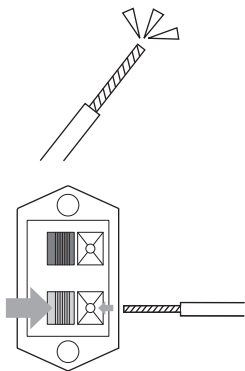
右スピーカーへ

黒　赤

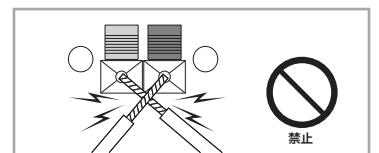
黒 ←銀色の線

赤 ←銅色の線

右スピーカー入力

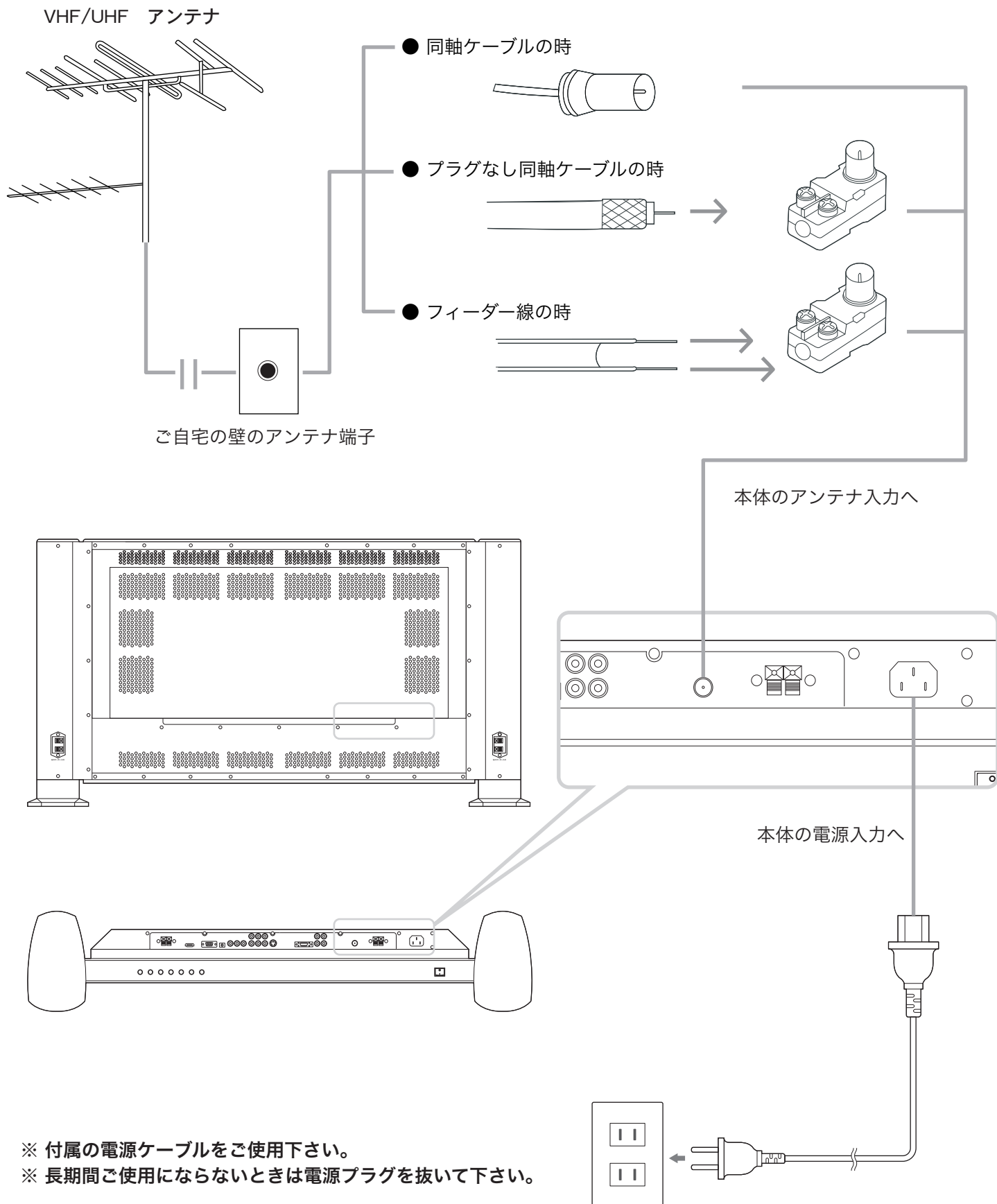
※ 本体側も抜けている場合は、同じように接続して下さい。

左スピーカーへ→左スピーカー入力、右スピーカーへ→右スピーカー入力をそれぞれ接続して下さい。

1．芯線が広がっていたらねじる

2．黒／赤の爪を穴が見えるまで押し、穴に芯線を差し込んではさむ

※ 接続するときは、必ず本体の電源を切って下さい。
※ コードの色をよくご確認の上、正しく接続して下さい。
※ 奥に入れすぎると音声が出ない場合があります。
　確実に芯線と端子の金属部が触れるようにはさみ込んで下さい。
※ コードの＋(銅色)、－(銀色)はショートさせないで下さい。

アンテナの接続

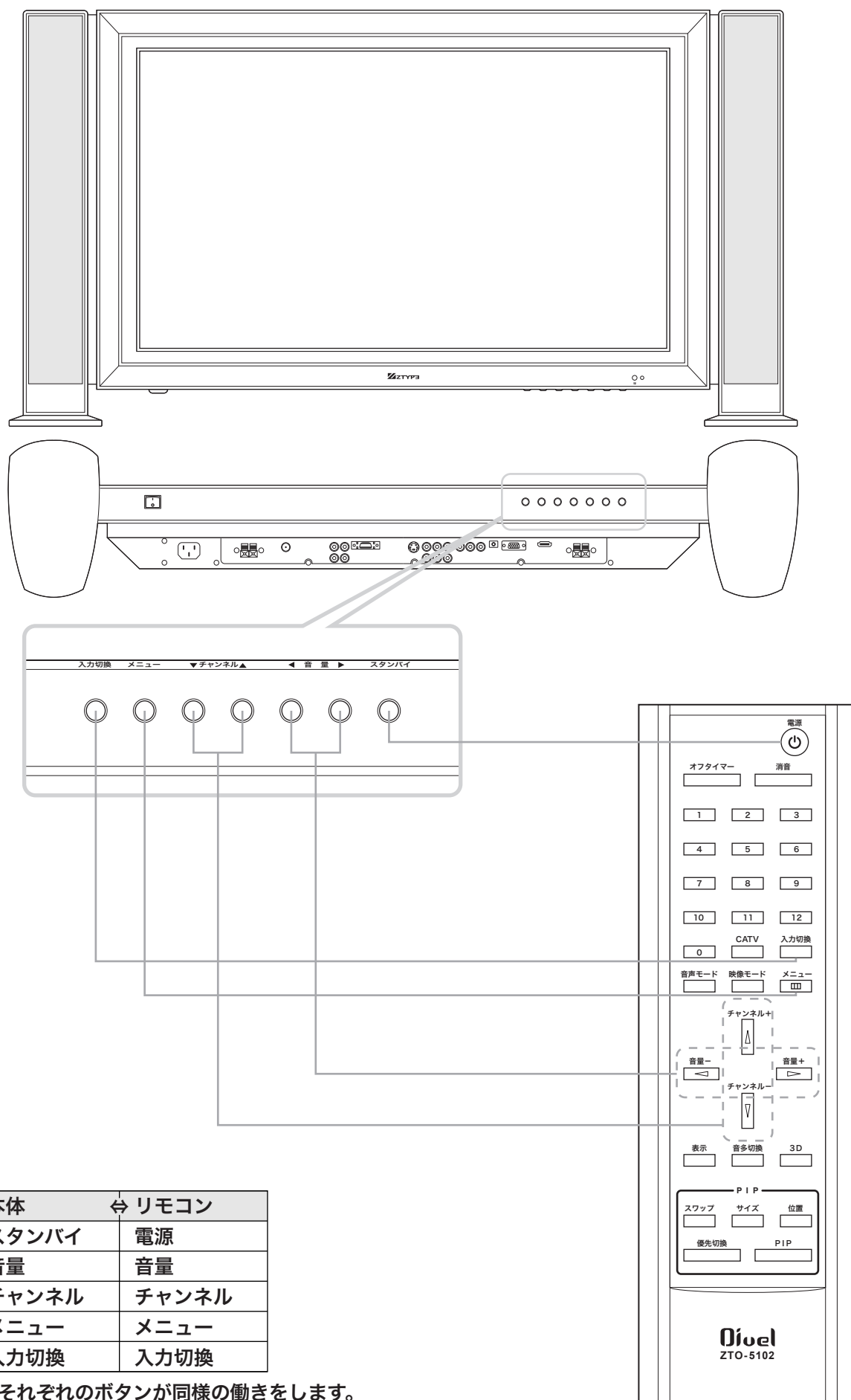
■アンテナ線、電源ケーブルの接続

※ 接続するときは、必ず本体の電源を切って下さい。
※ 必要なケーブルは市販品をお買い求め下さい。

※ 付属の電源ケーブルをご使用下さい。
※ 長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いて下さい。

テレビを見る前に

この取扱説明書ではおもにリモコンでの操作方法を説明しています。
本体下部操作ボタンでもリモコンと同様の操作ができます。

本体	⇔ リモコン
スタンバイ	電源
音量	音量
チャンネル	チャンネル
メニュー	メニュー
入力切換	入力切換

※ それぞれのボタンが同様の働きをします。

テレビを見る前に

■初めてテレビをご使用する際は

各放送局のテレビ番組を受信する為に必ず"オートスキャン(読み込み)"を行って下さい。

■"オートスキャン(読み込み)"を行う

※ オートスキャンを行う前にアンテナ線の接続を確認して下さい。

本体下部もしくはリモコンのメニューボタンを押しメニュー画面を表示します。

メニュー画面左側にメニュー項目が表示されますので、本体もしくはリモコンにあるチャンネル(▲/▼)ボタンを押して、チャンネルメニューにカーソルを合わせます。
本体もしくはリモコンにある音量(◀/▶)ボタンを押してチャンネルメニュー画面に入ります。

チャンネルメニュー画面で一番上の項目、オートスキャンにカーソルを合わせて再度、本体もしくはリモコンの音量(◀/▶)ボタンを押してオートスキャンを決定し、読み込みを開始します。

オートサーチを終えて、表示しているメニュー画面を閉じる場合には本体もしくはリモコンのメニューボタンを押して下さい。

本体メニューボタン	リモコンメニューボタン
メニュー	メニュー
チャンネル(+/−) ▲ ▼	チャンネル(+/−) △ ▽
音量(+/−) ◀ ▶	音量(+/−) ◁ ▷

チャンネルメニュー

オートスキャンの最中は上の読み込み状況画面が表示されます。読み込みが終了するまでしばらくお待ち下さい。

■"オートスキャン(テレビ番組の読み込み)"を行った後に

オートスキャンを行っている最中は何も操作を行わずにお待ち下さい。
読み込み終了後、受信した放送局が表示されます。
この時点では受信したテレビ局をランダムに表示するため、お客さまがお住まいの地域で表示されている放送局のチャンネル番号と異なる場合があります。

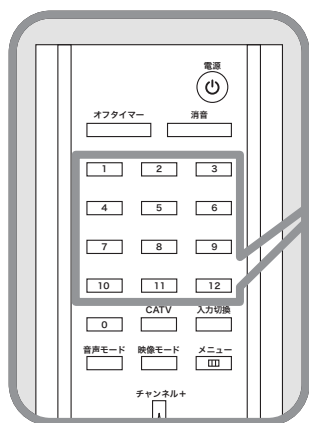
※登録されたチャンネル番号をお客さまがお住まいの地域で表示されているチャンネル番号に変更する場合は
　メニュー画面→チャンネルメニュー→スワップの設定を行う必要があります(次頁参照)

■"スワップ(読み込んだチャンネル番号の確認・変更)"を行う

オートスキャンで放送局の読み込みを行った後にリモコンの1～12のダイレクトチャンネルボタンにランダムに振り分けられた放送局を、お客様がお住まいの地域で表示されているチャンネル番号に合わせていただくためにスワップを行います。

メニューボタンを押し、メニュー画面を表示した状態でチャンネル(▲/▼)ボタンを押してチャンネルメニューを選択します。音量(◀/▶)ボタンでチャンネルメニューに入ります。チャンネルメニュー内の設定からチャンネル(▲/▼)ボタンを使用して"スワップ"を選択し、音量(◀/▶)ボタンでスワップの設定画面を表示します。

チャンネルメニュー

スワップの設定画面を表示し、画面内の"リモコン"と"チャンネル"を入力します。
変更を行う際はお客さまがお住まいの地域のテレビ局がそれぞれ何チャンネルに表示されているかを事前に確認していただくことをお勧めします。

スワップ画面の"リモコン"は付属のリモコンの1～12のダイレクトチャンネルボタンのことを指しています。

オートスキャンで読み込んだチャンネル番号を表示します。音量(◀/▶)ボタンを使用して、1～62ch・C13～C63のチャンネル番号を表示し、受信チャンネルの確認やリモコンのダイレクトチャンネルボタンへの登録ができます。

■リモコン
登録された1～12のダイレクトチャンネルボタンの番号を表示します。
本体もしくはリモコンの音量(◀/▶)ボタンを使用して変更することができます。

■チャンネル
オートスキャンを行った際にそれぞれのダイレクトチャンネルボタンに登録された放送局を表示します。"チャンネル"の番号を変更しますと、それぞれのダイレクトチャンネルボタンに登録された放送局を変更することができます。
またスワップ画面上の"チャンネル"の番号を変更することで、読み込んだ全てのチャンネル(1～62ch・C13～C63)の確認を行うことができ、その放送局をリモコンのダイレクトチャンネルボタンに登録することができます。

■スワップの変更が完了し、スワップメニュー画面を閉じる場合はメニューボタンを押して下さい。そのまま続けて別のスワップ変更を行う場合はチャンネル(▲/▼)ボタンを押して"リモコン"の番号を音量(◀/▶)ボタンで変更し、再度チャンネル(▲/▼)ボタンを押し"チャンネル"の番号を音量(◀/▶)ボタンで変更して下さい。

スワップの操作

オートスキャンを行い、放送局の読み込み終了後、スワップ機能で設定を変更することができます。
ここでは例をあげてスワップ画面から読み込んだチャンネルの確認や変更等の操作を説明します。

例 1)　地域Aでオートスキャンを行ったものとします

スワップ画面(図1) "リモコン"に3が表示され、"チャンネル"に10が表示されています。この状態はリモコンのダイレクトチャンネルボタン③にチャンネル番号10chの放送局が登録されている状態です。
ダイレクトチャンネルボタン③に、この地域Aで受信・表示されている3chの番組を登録するには"チャンネル"の項目に表示されている10の数字を音量(◀/▶)ボタンを使用して3に合わせて下さい(図2)
リモコンのダイレクトチャンネルボタン③に地域Aで受信・表示されている3chの番組を登録することができます。

例 2)　地域Aでオートスキャンを行ったものとします

スワップ画面(図3)"リモコン"に7が表示され、"チャンネル"に7が表示されています。この状態はリモコンのダイレクトチャンネルボタン⑦にチャンネル番号が7chの放送局が登録されている状態です。
ダイレクトチャンネルボタン⑦に、この地域Aで受信・表示されているC19の番組を登録するには"チャンネル"の項目に表示されている7の数字を音量(◀/▶)ボタンを使用してC19に合わせて下さい(図4)
リモコンのダイレクトチャンネルボタン⑦に地域Aで受信・表示されているチャンネル番号C19の番組を登録することができます。
※この場合、画面右上に表示されるチャンネル番号はC19となります。

■ダイレクトチャンネルボタンに登録された以外の放送局を確認する場合

スワップ画面の"チャンネル"項目から、読み込んだ全てのチャンネル番号(1〜62ch・C13〜C63)を表示し、確認していただくことができます。
スワップ画面を表示し、"チャンネル"項目から音量(◀/▶)ボタンを使用してチャンネル番号を順に表示しながら読み込まれた全てのチャンネル番号と画面を確認して下さい。

チャンネル(+/−)ボタンでは1〜12のダイレクトチャンネルボタンに登録された放送局のみを確認・選局することができます。

CATV(C13〜C63)を表示するには、CATVボタンを押した上でダイレクトチャンネルボタンでチャンネル番号を入力します。

テレビを見る

※ リモコンは本体下部の受光部に向けて操作して下さい。

■普段の使い方

1. 主電源を入れる

●**本体下部の主電源ボタンを押す**
(電源ランプは赤色に点灯します。)

※ 主電源が入っていないと、リモコンや本体のスタンバイボタンで電源を入れることはできません。

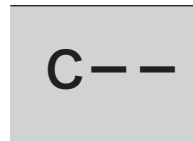
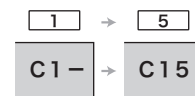
2. 電源を入れる

●**リモコンの電源ボタンを押す**
(電源ランプは緑色に点灯します。)

3. チャンネルを選ぶ

●**リモコンのダイレクトチャンネルボタンまたはチャンネル(+/−)ボタンで選局する**

※ チャンネル(+/−)ボタンでは、ダイレクトチャンネルボタンに登録されたチャンネルを順に表示します。
※ メニュー→チャンネルで、スキップの設定をオンP.31にしているチャンネルは、チャンネル(+/−)ボタンでは選局できません。

※ **CATVチャンネルの選局**
CATVボタンを押し、ダイレクトチャンネルボタンで選局する

例）C15を選ぶとき

※ CATVボタンは１度押すとチャンネルを選ばないと解除されません。
１～１２を選局したいときは、C１３～C６２を押して解除して下さい。

4. 音量を調整する

●**リモコンの音量(+/−)ボタンで調整する**

※最大は100です。
リセットを行うと30になります。

←小　　大→

※**消音ボタン**
音声を一時的に消します。
もう一度押すともとの音量に戻ります。

画面右下に表示されます。
消音中は表示は消えません。

5. ビデオやDVDなど外部機器を使用する

●**リモコンの入力切換ボタンを押す**
●**チャンネル(▲/▼)ボタンで選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定する**

※ キャンセルしたいときはメニューボタンを押します。

TV
ビデオ1
ビデオ2
Sビデオ
YPbPr
D端子
VGA
HDMI

6. 電源を切る

●**リモコンの電源ボタンを押す**
(電源ランプは赤色に点灯します。)

※長時間ご使用にならない場合は主電源をお切り下さい。

■便利な使い方

a. オフタイマーの設定をする

オフタイマーボタンを押す

押すごとに設定時間が切り換わります。
設定を行うと、指定分後に電源が自動的に切れ、待機中になります。

※ 解除するときは、オフタイマーボタンを押し、設定をオフにします。
※ メニュー→システム→タイマーでは、時間でも設定できます。p.29

b. 音声モードを切り換える

音声モードボタンを押す

押すごとに音声モードが切り換わります。p.24

c. 映像モードを切り換える

映像モードボタンを押す

押すごとに映像モードが切り換わります。p.22

d. 見ているチャンネルを確認する

表示ボタンを押す　：画面右上にチャンネル番号が表示されます。

※ 表示される時間はメニュー→システム→OSD表示時間で設定できます。p.28

e. 多重音声放送を見る

音多切換ボタンを押す

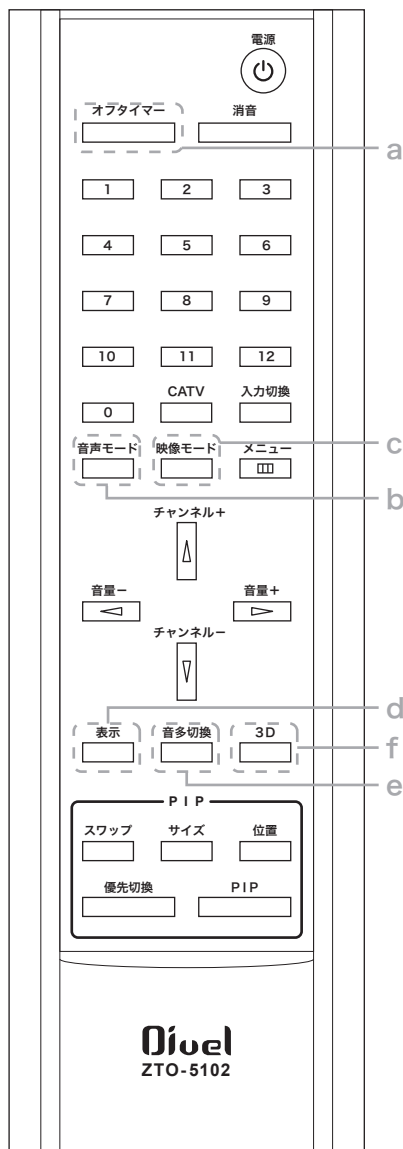
押すごとに音声が切り換わります。p.31

※ 二重音声放送のとき　　**※ ステレオ放送のとき**

※ 対応していない番組では表示されません。

f. 疑似サラウンド効果を切り換える

３Dボタンを押す

押すごとにオン／オフが切り換わります。p.25

■便利な使い方（PIP機能）

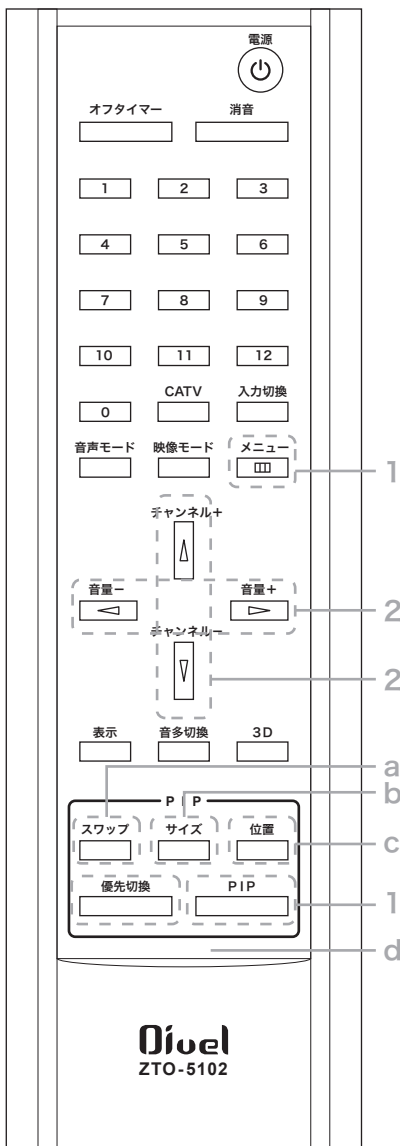
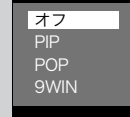
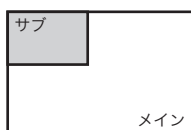
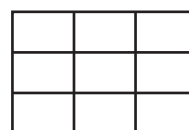
※ PIP機能とは、異なるソースの2つのイメージを同時に表示する機能です。
※ メニュー→PIPでも設定できます。p.26

1．PIPボタンを押す

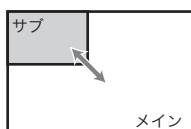
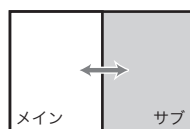
2．チャンネル(▲/▼)ボタンで選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定する

※ キャンセルするときやウインドウを閉じるときはメニューボタンを押します。

● PIP

● POP

● 9WIN

a. メイン／サブ画面を入れ替える

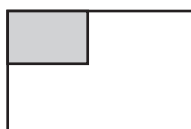
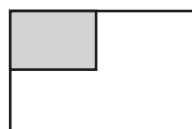
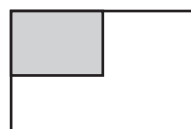
スワップボタンを押す

● PIP

● POP

※リモコンの表示ボタンを押した場合
メイン画面は上段に赤文字で
サブ画面は下段で橙文字で
入力ソースもしくはチャンネル番号を表示します。

b. サブ画面の大きさを変える（PIP設定時のみ）

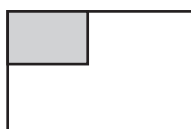
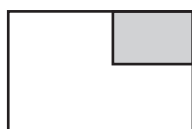
サイズボタンを押す

押すごとにサイズが切り換わります。

● PIP

c. サブ画面の位置を変える（PIP設定時のみ）

位置ボタンを押す

押すごとに表示位置が移動します。

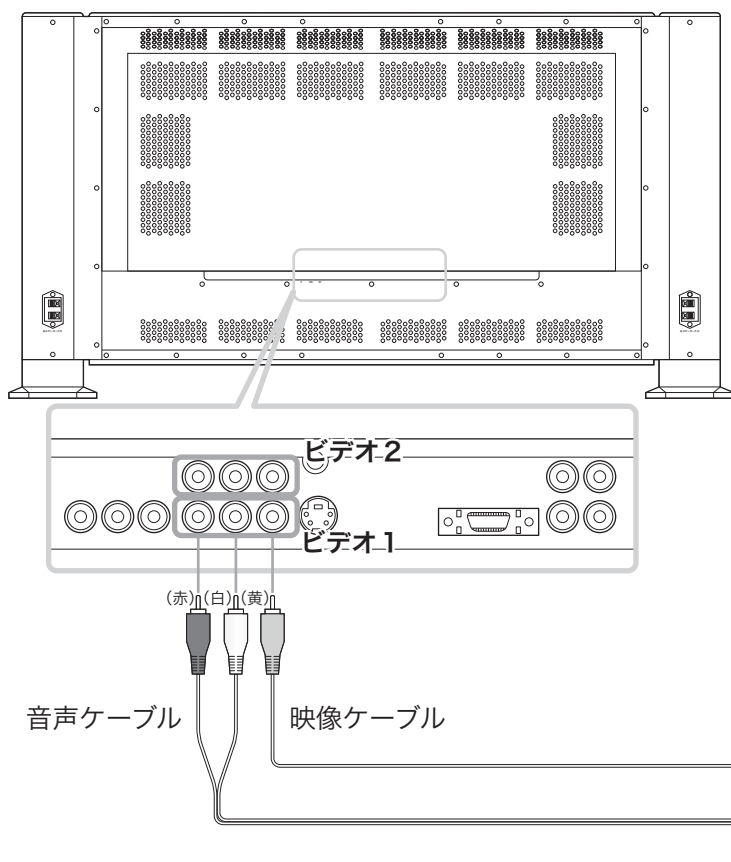
● PIP

d. メイン／サブ画面で操作を優先する画面を切り換える

優先切換ボタンを押す

音量や入力切換などの操作ができます。
※ 音声は優先に設定されている画面の音声が出ます。

外部機器との接続(映像/S映像)

※ 接続するときは、必ず本体と接続する機器の電源を切って下さい。
※ 必要なケーブルは市販品をお買い求め下さい。
※ 接続する機器の使用方法や詳しい接続については、それぞれの取扱説明書をご確認下さい。

■映像と音声入力端子につなぐ

1. 映像、音声ケーブルを接続する

ビデオ1もしくはビデオ2のどちらかそれぞれ同じ色の端子につなぎます。

2. 入力を切り換える

電源を入れ、リモコンの入力切換のボタンを押し、チャンネル(▲/▼)ボタンでビデオ１またはビデオ２を選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定します。

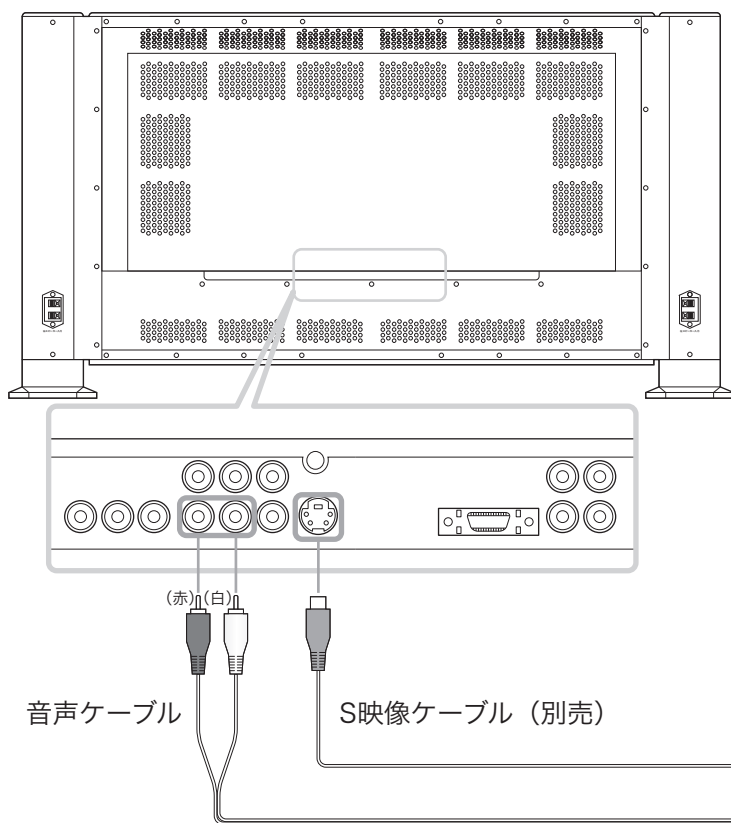
■Sビデオ入力端子につなぐ

● S映像端子付き機器の場合

(赤) (白)

音声ケーブル

S映像ケーブル（別売）

(白)

1. S映像、音声ケーブルを接続する

音声ケーブルはそれぞれ同じ色の端子につなぎます。
※ 音声ケーブルは左図の通り、ビデオ１用の端子をご使用ください。

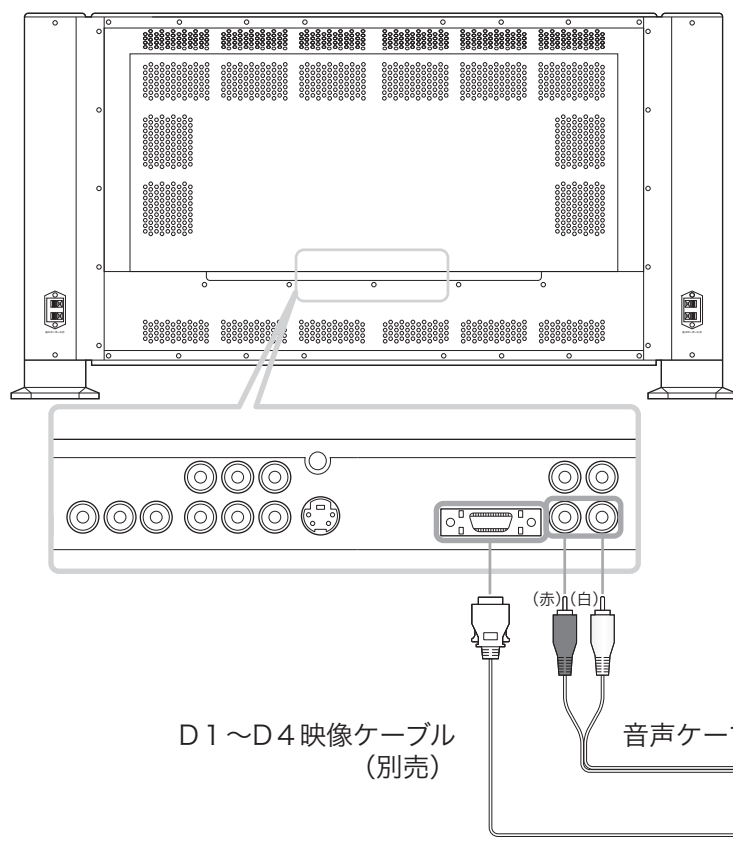
2. 入力を切り換える

電源を入れ、リモコンの入力切換のボタンを押し、チャンネル(▲/▼)ボタンでSビデオを選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定します。

TV
ビデオ1
ビデオ2
Sビデオ
YPbPr
D端子
VGA
HDMI

他の外部機器との接続(D1～D4映像)

■D１～D４映像入力端子につなぐ

● D端子付き機器の場合

1. D１～D４映像、音声ケーブルを接続する

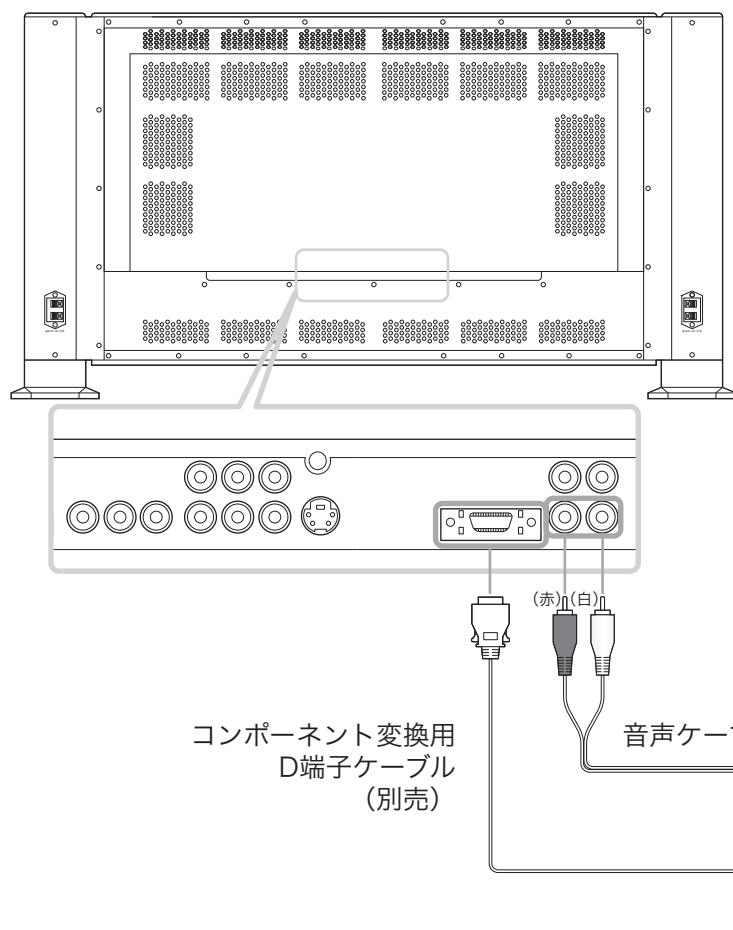
音声ケーブルはそれぞれ同じ色の端子につなぎます。

2. 入力を切り換える

電源を入れ、リモコンの入力切換のボタンを押し、チャンネル(▲/▼)ボタンでD端子を選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定します。

TV
ビデオ1
ビデオ2
Sビデオ
YPbPr
D端子
VGA
HDMI

(赤) (白)
D１～D４映像ケーブル
(別売)
音声ケーブル
(白)
(赤)

● コンポーネントビデオ端子付き機器の場合

1. コンポート映像、音声ケーブルを接続する

コンポーネント、音声ケーブルはそれぞれ同じ色の端子につなぎます。

2. 入力を切り換える

電源を入れ、リモコンの入力切換のボタンを押し、チャンネル(▲/▼)ボタンでD端子を選択し、音量（◀/▶）ボタンで決定します。

TV
ビデオ1
ビデオ2
Sビデオ
YPbPr
D端子
VGA
HDMI

(赤) (白)
コンポーネント変換用
D端子ケーブル
(別売)
音声ケーブル
(白)
(赤)
(緑)
(青)
(赤)

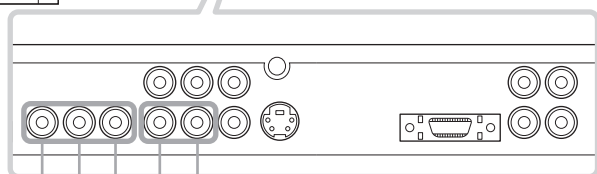
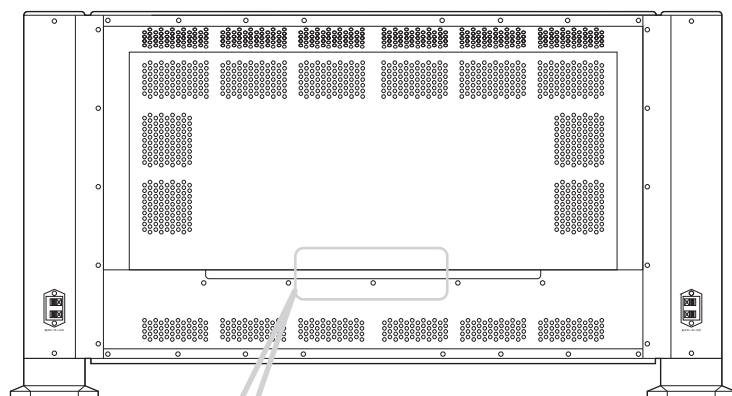
外部機器との接続(コンポーネント/HDMI)

■コンポーネントビデオ入力端子につなぐ

●コンポーネント端子付き機器の場合

（赤）（青）（緑）（赤）（白）

音声ケーブル

（白）
（赤）
（緑）
（青）
（赤）

コンポーネント接続用ケーブル（別売）

1. コンポーネント接続用ケーブル、音声ケーブルを接続する

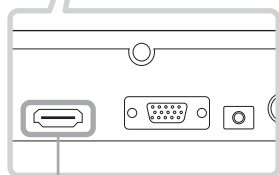
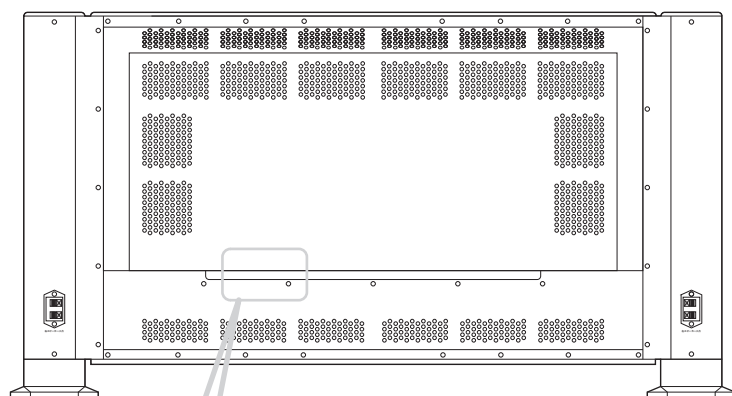
それぞれ同じ色の端子につなぎます。
※ 音声ケーブルは左図の通り、ビデオ１用の端子をご使用ください。

2. 入力を切り換える

電源を入れ、リモコンの入力切換のボタンを押し、チャンネル(▲/▼)ボタンでYPbPrを選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定します。

TV
ビデオ1
ビデオ2
Sビデオ
YPbPr
D端子
VGA
HDMI

■HDMI入力端子につなぐ

●HDMI端子付き機器の場合

HDMIケーブル（別売）

1. HDMIケーブルを接続する

2. 入力を切り替える

電源を入れ、リモコンの入力切換のボタンを押し、チャンネル(▲/▼)ボタンでHDMIを選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定します。

※音声ケーブルの接続は必要ありません。

※本製品はHDMI Ver1.1に対応しています。

外部機器との接続(パソコン/外部スピーカー)

■PC（VGA）入力端子につなぐ(パソコンと接続する)

●パソコン機器の場合

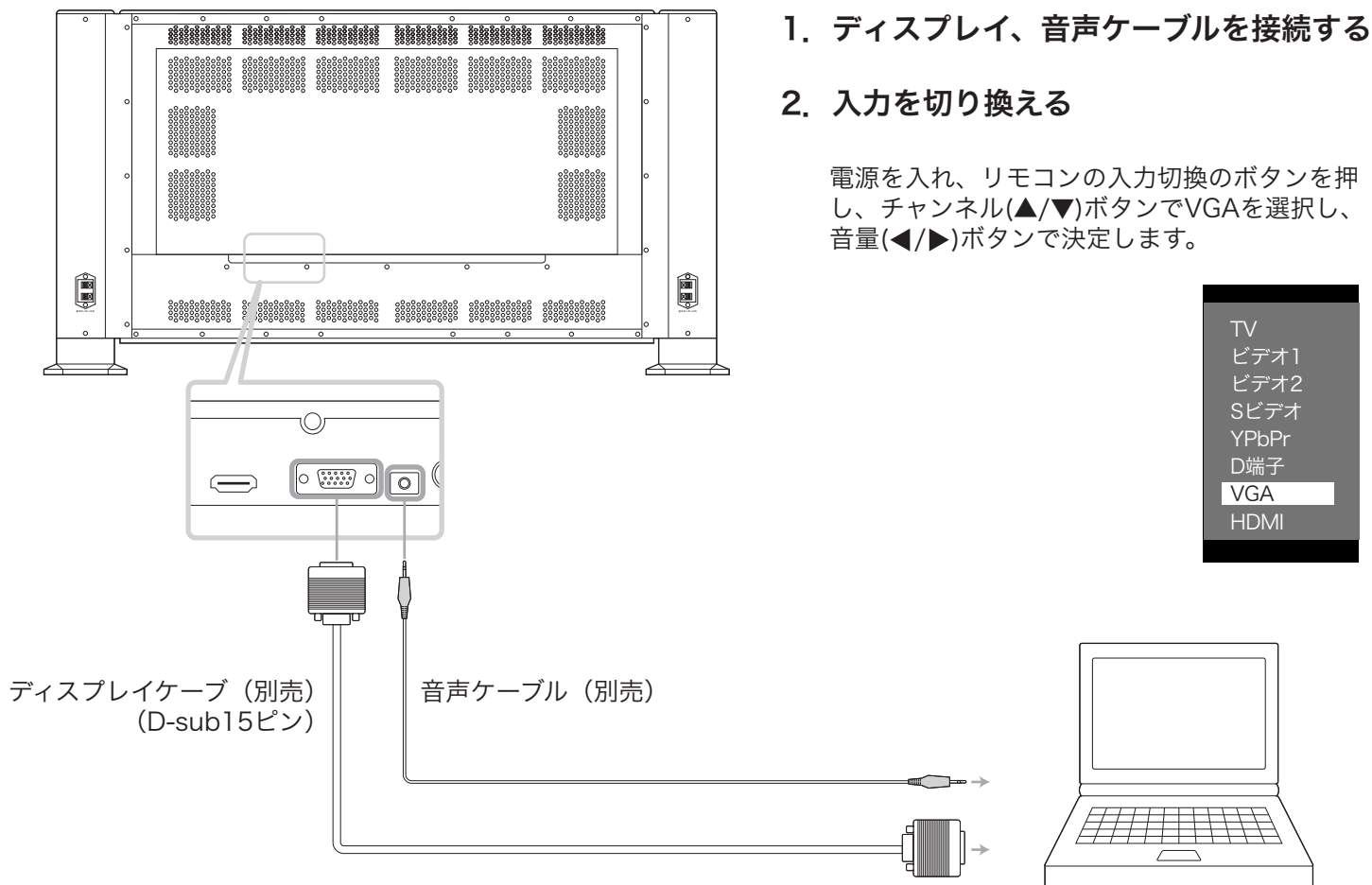
ディスプレイケーブ（別売）
（D-sub15ピン）

音声ケーブル（別売）

1. ディスプレイ、音声ケーブルを接続する

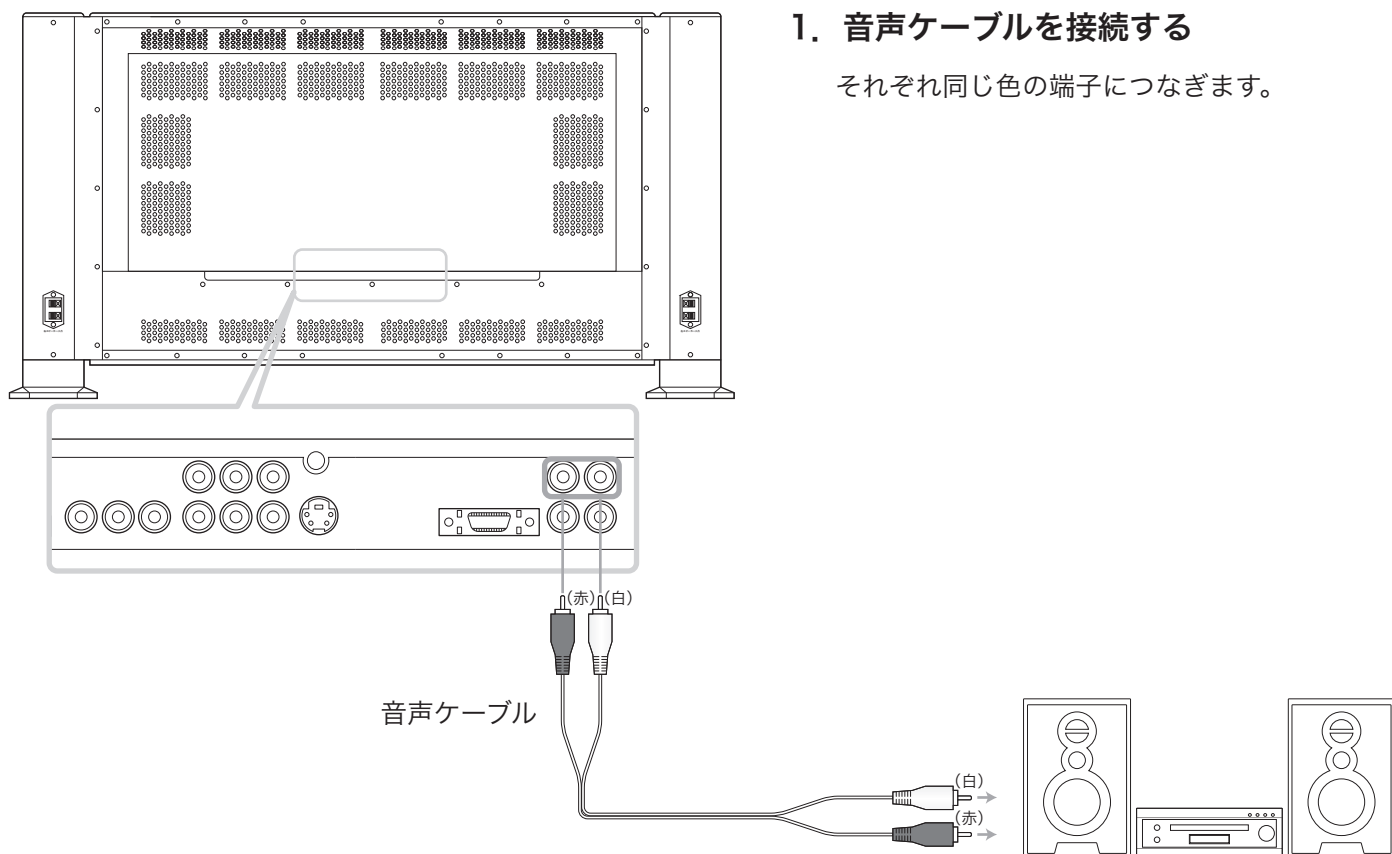
2. 入力を切り換える

電源を入れ、リモコンの入力切換のボタンを押し、チャンネル(▲/▼)ボタンでVGAを選択し、音量(◀/▶)ボタンで決定します。

TV
ビデオ1
ビデオ2
Sビデオ
YPbPr
D端子
VGA
HDMI

■音声出力端子につなぐ(外部スピーカーから音を出力する)

●外部スピーカー等の場合

1. 音声ケーブルを接続する

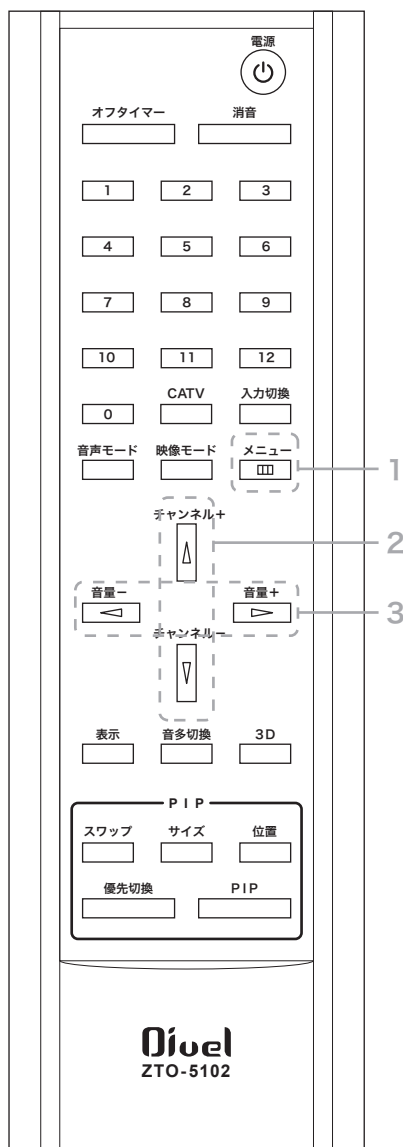
それぞれ同じ色の端子につなぎます。

メニュー画面の操作

※ リモコンは本体下部の受光部に向けて操作して下さい。

メニューボタンからメニュー画面を表示し、画面上のそれぞれのメニュー項目から設定の変更を行うことができます。お好みのメニューから設定の変更を行い、本製品をお楽しみ下さい。

■メニュー画面の使い方

1. メニュー画面を表示する

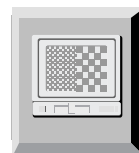
●メニューボタンを押すと画面上にメニュー画面が表示されます。

2. メニュー画面上の操作

●メニュー画面が表示されましたら、チャンネル(▲/▼)ボタンを押して設定したいメニューを選択します。

3. メニューの選択

●メニューの選択ができましたら、音量(◀/▶)ボタンを押して、それぞれのメニュー画面に入ります。
メニュー画面に入りましたら、再度チャンネル(▲/▼)ボタンを押して項目を選び、音量(◀/▶)ボタンで設定を行います。設定を終了し、メニュー画面を閉じたり、進めたメニュー画面を1つ前の画面に戻す場合にはメニューボタンを使用して下さい。

■それぞれのメニュー

映像メニュー	音声メニュー	PIPメニュー	システムメニュー	チャンネルメニュー	PCメニュー

メニュー画面の操作

■映像メニューを開く

**メニュー画面を開きましたら、リモコンのチャンネル(▲/▼)ボタンで設定したいメニュー項目を選択し、音量(◀/▶)ボタンで各メニュー項目に入ります。
ここでは映像メニューの設定を行います。設定が終わりましたら、メニューボタンを押してメニュー画面に戻ることができます。また、メニュー画面を閉じる際もメニューボタンが使用できます。**

映像メニュー

映像モード

表示映像の設定をお好みに合わせて変更します。

チャンネル(▲/▼)ボタン

音量(◀/▶)ボタン

→ノーマル→ソフト→ビビッド→ユーザー

●ノーマル
→初期設定で標準の状態です。
●ソフト
→少し暗い部屋でお楽しみいただく場合。
●ビビッド
→明るく迫力のある映像を楽しむ場合。
●ユーザー
→お好みで調節した映像をお楽しみいただく場合。

※ノーマル・ソフト・ビビッドの設定から明るさやコントラスト等の映像調整を行うと自動的にユーザーの設定に切り換わります

明るさ

表示された映像の明るさを調節します。(0～100)

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

明るさ 50

コントラスト

表示された映像のコントラストを調節します。(0～100)

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

コントラスト 50

彩度

表示された映像の彩度を調節します。(0～100)

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

彩度 60

シャープ

音量(◀/▶)ボタン

表示された映像のシャープを調節します。
(0〜100)

チャンネル(▲/▼)ボタン

シャープ

47

やわらか　くっきり

色合い

音量(◀/▶)ボタン

表示された映像の色合いを調節します。肌色などの色味を基準に調節を行うと、わかりやすいです(0〜100)

チャンネル(▲/▼)ボタン

色合い

50

紫っぽく　緑っぽく

色温度

音量(◀/▶)ボタン

表示された映像の色温度の設定をお好みに合わせて変更します。

チャンネル(▲/▼)ボタン

→ ノーマル → warm → cool → ユーザー

●ノーマル
→初期設定で標準の状態です。
●warm
→少し赤味の強い設定です。
●cool
→少し青味の強い設定です。
●ユーザー
→R(赤)G(緑)B(青)の色見を調節することができます。

スケール

音量(◀/▶)ボタン

表示された映像の比率設定を行います。

チャンネル(▲/▼)ボタン

→16：9 → ズーム1 → ズーム2 → 4：3

●16：9
→ワイド画面表示を行います。
●ズーム1
→16：9の画面をズームで表示します。
●ズーム2
→16：9の画面をズームで表示します。
●4：3
→4：3の画面表示を行います。

■音声メニューを開く

**メニュー画面を開きましたら、リモコンのチャンネル(▲/▼)ボタンで設定したいメニュー項目を選択し、音量(◀/▶)ボタンで各メニュー項目に入ります。
ここでは音声メニューの設定を行います。設定が終わりましたら、メニューボタンを押してメニュー画面に戻ることができます。また、メニュー画面を閉じる際もメニューボタンが使用できます。**

音声メニュー

音声モード

出力音声の設定をお好みに合わせて変更します。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

→ノーマル→音楽→ニュース→ユーザー

●ノーマル
→初期設定で標準の状態です。
●音楽
→高音・低音を自動で調節し、音楽を鑑賞しやすい状態に設定します。
● ニュース
→高音・低音を自動で調節し、セリフ等の音声を聞き取りやすい状態に設定します。
●ユーザー
→お好みで調節した音声をお楽しみいただけます。

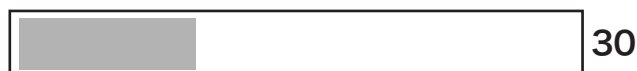
※ノーマル・音楽・ニュースの設定から低音や高音等の音声の調整を行うと自動的にユーザーの設定に切り換わります。

音量

出力される音量の調節を行います(0〜100)

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

音量
30

※音量の調節は本体やリモコンの音量ボタン(+/−)でも可能です。

低音

出力される音声の低音域の調節を行います。(0〜100)

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

低音
50

メニュー画面の操作

高音

出力される音声の高音域の調節を行います。(0～100)

音量(◀/▶)ボタン

高音

50

チャンネル(▲/▼)ボタン

バランス

左右から出力される音声のバランス調節を行います。(0～100)
※数値が100になると、サイドスピーカーの右側からのみ音声が出力されます。

音量(◀/▶)ボタン

バランス

50

左　右

チャンネル(▲/▼)ボタン

サラウンド

出力される音声の疑似サラウンド効果の設定を行います(オン/オフ)
オンの状態にすると、臨場感のある音声を出力することができます。

音量(◀/▶)ボタン

オン←→オフ

チャンネル(▲/▼)ボタン

■PIPメニューを開く

**メニュー画面を開きましたら、リモコンのチャンネル(▲/▼)ボタンで設定したいメニュー項目を選択し、音量(◀/▶)ボタンで各メニュー項目に入ります。
ここではPIPメニューの設定を行います。設定が終わりましたら、メニューボタンを押してメニュー画面に戻ることができます。また、メニュー画面を閉じる際もメニューボタンが使用できます。**

**PIPとは、"Picture-in-Picture(ピクチャインピクチャ)"の略です。2番目のイメージソースが小さな画面に表示されます。異なるソースの2つのイメージを同時に表示することができます。
最初のイメージソースはTV・ビデオ・S映像です。
PIPウィンドウ内に表示されるイメージソースは、D端子・Y/Pb/Pr・VGA・HDMIです。**

PIPメニュー

ウィンドウ

PIPモードをオンの状態にしている場合にPIP・POP選択時にどちらのウィンドウを優先させるかを切り換えます。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

メイン ⟷ PIP

●メインソース
　→メインソースを優先して操作を行います。
●PIP
　→PIP(サブソース)の画面を優先して操作を行います。

※音声は優先に設定されている画面の音声が出ます。
※リモコンの優先切換ボタンで変更することもできます。

メインソース

メインソースを選択することができます。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

→ TV → ビデオ1 → ビデオ2 → Sビデオ ─┐

●TV
　→テレビ番組
●ビデオ1
　→外部入力(ビデオ1)
● ビデオ2
　→外部入力(ビデオ2)
●Sビデオ
　→外部入力(Sビデオ)

サブソース

サブソースを選択することができます。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

→ D端子 → Y/Pb/Pr → VGA → HDMI ─┐

●D端子
　→外部入力(D端子)
●Y/Pb/Pr
　→外部入力(コンポーネント)
● VGA
　→外部入力(PC入力)
●HDMI
　→外部入力(HDMI)

メニュー画面の操作

PIPサイズ

表示したPIPのサイズを3段階で切換えることができます。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

- ●PIP(小)：約 横175mm×縦98mm
- ●PIP(中)：約 横230mm×縦130mm
- ●PIP(大)：約 横325mm×縦184mm

※リモコンのサイズボタンを使用しても、PIPサイズの設定が行えます。

PIP位置

表示したPIPの位置を画面上の四隅から選択することができます。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

→左上→右上→右下→左下

※リモコンの位置ボタンを使用しても、PIP位置の設定が行えます。

PIPモード

画面上の表示設定を行います。初期設定はオフの状態になります。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

→オフ→PIP→POP→9WIN

●オフ
→通常のメイン表示のみの状態です

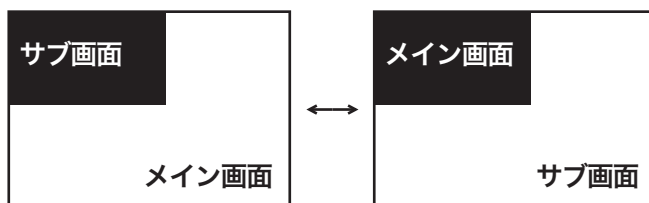
●PIP
→メイン画面とPIP画面の2つの画面表示を行います。

●POP
→メイン画面と外部入力画面を半々に使用して表示を行います。

●9WIN
→画面上を9分割表示し、オートスキャンで読み込みを行った番組を表示します。受信している全てのチャンネルを表示するため、常に9つの画面表示内に順に回りながら番組が表示されます。
※9WAY画面上ではそれぞれの番組にチャンネル番号は表示されませんのでご注意下さい。

※リモコンのPIPボタンを使用しても、PIPモードの設定が行えます。

PIPスワップ

メイン画面とPIP画面の表示を入れ替えることができます。
※入れ替えを行っている場合はPIPメニュー画面上のメインソースとサブソースの設定が入れ替ります。

音量(◀/▶)ボタン

チャンネル(▲/▼)ボタン

※リモコンのスワップボタンを使用しても、PIPスワップの設定が行えます。

3DNR

ビデオ信号に混入している輝度ノイズや色ノイズを検出し抜き取り、画面のざらざら感を低減させて、画像を向上させる機能。

音量(◀/▶)ボタン

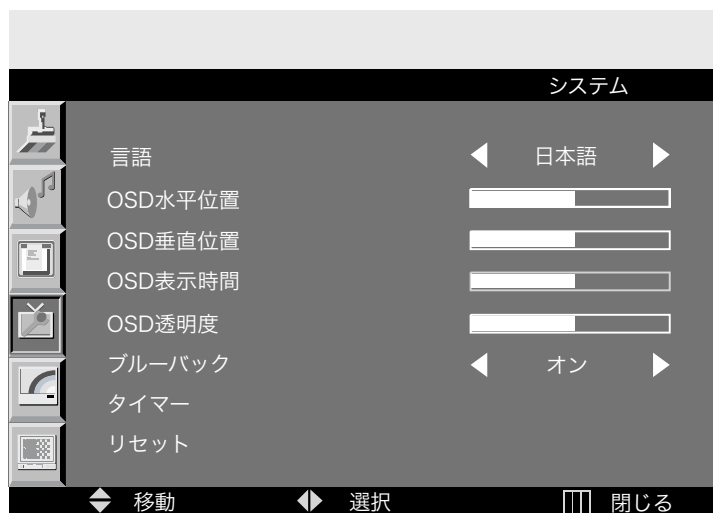
チャンネル(▲/▼)ボタン

→低→中→高→オフ

※3DNRを低/中/高に設定されている場合、音声が乱れたり、映像に残像がのこりやすくなる場合があります。その場合は3DNRをオフに設定して下さい。

メニュー画面の操作

■システムメニューを開く

メニュー画面を開きましたら、リモコンのチャンネル(▲/▼)ボタンで設定したいメニュー項目を選択し、音量(◀/▶)ボタンで各メニュー項目に入ります。ここではシステムメニューの設定を行います。設定が終わりましたら、メニューボタンを押してメニュー画面に戻ることができます。また、メニュー画面を閉じる際もメニューボタンが使用できます。

システムメニュー

言語

メニュー画面などの表示言語を設定します。

音量(◀/▶)ボタン

日本語 ←→ ENGLISH

チャンネル(▲/▼)ボタン

OSD水平位置

メニュー画面の水平位置を設定します。

音量(◀/▶)ボタン

水平位置

左方向へ　　右方向へ

チャンネル(▲/▼)ボタン

OSD垂直位置

メニュー画面の垂直位置を設定します。

音量(◀/▶)ボタン

垂直位置

上方向へ　　下方向へ

チャンネル(▲/▼)ボタン

OSD表示時間

メニュー画面やリモコンの表示ボタンを使用した時のチャンネル数の表示時間を設定します。

音量(◀/▶)ボタン

表示時間

5秒　　60秒

チャンネル(▲/▼)ボタン

メニュー画面の操作

OSD透明度

音量(◀/▶)ボタン

画面上に表示されるメニュー画面背面の濃度の設定を行います。

チャンネル(▲/▼)ボタン

透明度

低　　　高

ブルーバック

音量(◀/▶)ボタン

表示チャンネルにテレビ局が受信されていないようなチャンネルに合わせた場合にブルーバック表示を行います。

チャンネル(▲/▼)ボタン

オン⟷ オフ

※ブルーバック設定は通常のテレビ入力を行っている場合のみ使用できます。

タイマー

音量(◀/▶)ボタン

時間設定を行う、タイマーメニュー画面の表示を行い、タイマー設定を行います。

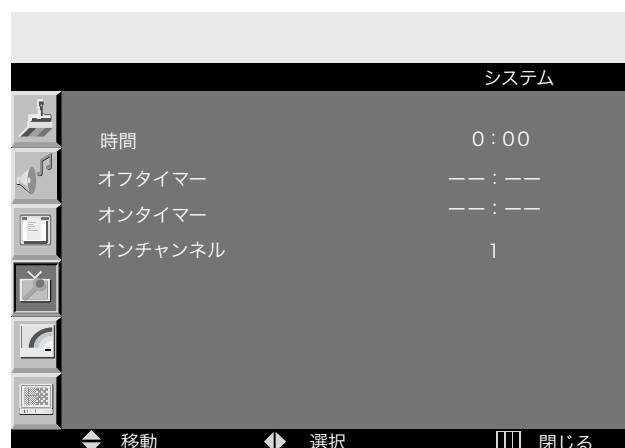
■タイマーメニュー画面の入力

タイマーメニュー画面を開きましたらチャンネル(▲/▼)ボタンを使用して入力したい項目にカーソルを合わせます。

入力したい項目にカーソルを合わせ、音量(◀/▶)ボタンを使用して時間の入力を行います。

お好みの時間を入力し、完了する場合にはメニューボタンを押して下さい。

チャンネル(▲/▼)ボタン

※主電源を切ると時間設定も解除されます。

●時間
→時間の入力を行います(0～24)：(00～59)
●オフタイマー
→入力した時間をもとに自動電源オフを行います。
●オンタイマー
→入力した時間をもとに自動電源オンを行います。
●オンチャンネル
→オンタイマーを行った際に表示されるチャンネルを選択します。
※1～62のチャンネルを選択します(CATVのチャンネルは選択できません)

リセット

音量(◀/▶)ボタン

設定を全て初期の状態に戻します。

チャンネル(▲/▼)ボタン

リセット

※リセットを行いますと全ての設定が初期化の状態になります。オートスキャンで読み込んだテレビ局やスワップで変更したチャンネル等もリセットされますのでご注意下さい。
※外部入力を行っている最中にリセットをしますと入力ソースがテレビの状態になります。

■チャンネルメニューを開く

**メニュー画面を開きましたら、リモコンのチャンネル(▲/▼)ボタンで設定したいメニュー項目を選択し、音量(◀/▶)ボタンで各メニュー項目に入ります。
ここではチャンネルメニューの設定を行います。設定が終わりましたら、メニューボタンを押してメニュー画面に戻ることができます。また、メニュー画面を閉じる際もメニューボタンが使用できます。**

**※チャンネルメニューはテレビ表示を行っている場合のみ選択可能です。
外部機器との接続をして入力ソースをTV以外に設定している場合は選択できません。**

チャンネルメニュー

オートスキャン

音量(◀/▶)ボタン

本製品を使用する際はまず始めに放送局の読み込みを行います。

チャンネル(▲/▼)ボタン

※オートスキャンに関しての詳しい説明は p.11

オートスキャン開始

ファイン

音量(◀/▶)ボタン

読み込んだそれぞれの放送局の映像が乱れている場合はファインを行い、受信周波数の微調整を行って下さい。
カーソルをファインに合わせ音量(◀/▶)ボタンを押しますとファイン調整画面を表示します。

チャンネル(▲/▼)ボタン

ファイン調整画面を表示

ファイン調整画面上で"ファイン"にカーソルが合っている場合は音量(◀/▶)ボタンを使用して受信周波数の微調整を行います。
調整が完了したら、チャンネル(▲/▼)ボタンで"保存"にカーソルを合わせ、音量(◀/▶)ボタンを押して決定します。
ファイン調整画面を閉じる際はメニューボタンを使用します。
ファイン設定画面上で変更をキャンセルする場合にはメニューボタンで一度ファイン設定画面を閉じ、再度ファイン設定画面を開いた状態で音量(◀/▶)ボタンを押して下さい。

メニュー画面の操作

スワップ

音量(◀/▶)ボタン

オートスキャンで読み込み、振り分けられた全放送局の表示の確認や、リモコンのダイレクトチャンネルボタンに登録されたチャンネル番号の変更を行います。

チャンネル(▲/▼)ボタン

※スワップに関しての詳しい説明は p.12

スワップ画面を表示

"リモコン"には1～12のダイレクトチャンネルボタンの番号が表示され、その番号に登録されたチャンネル番号が"チャンネル"に表示されます。
音量(◀/▶)ボタンを押して、登録したいチャンネル番号を設定します。
スワップ画面を閉じるにはメニューボタンを押します。

スキップ

音量(◀/▶)ボタン

表示を行う必要のないチャンネルを表示した状態でスキップをオンすると、リモコンのチャンネル上下ボタンで選局を行った際に非表示になります。
リモコンの1～12のダイレクトチャンネルボタンを使用した場合はスキップの効果は無効となります。

チャンネル(▲/▼)ボタン

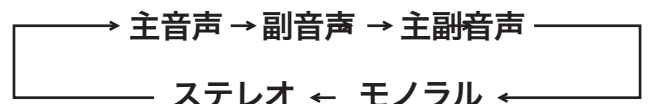
オン ⟷ オフ

音多切換

音量(◀/▶)ボタン

音声多重放送の音声切換やモノラル/ステレオの変更を行います。
それぞれ対応していない番組を選局している場合はメニュー画面上の音多切換メニューの項目は表示されません。

チャンネル(▲/▼)ボタン

主音声 → 副音声 → 主副音声 → モノラル → ステレオ → 主音声

※主音声・副音声・主副音声は二重音声放送の場合のみ表示されます。
※ステレオはステレオ放送の場合のみ表示されます。対応していない番組では表示されません。

※リモコンの音多切換ボタンを使用しても、音多切換の設定が行えます。

メニュー画面の操作

■PCメニューを開く

メニュー画面を開きましたら、リモコンのチャンネル(▲/▼)ボタンで設定したいメニュー項目を選択し、音量(◀/▶)ボタンで各メニュー項目に入ります。
ここではチャンネルメニューの設定を行います。設定が終わりましたら、メニューボタンを押してメニュー画面に戻ることができます。また、メニュー画面を閉じる際もメニューボタンが使用できます。

※PCメニューはPC接続を行い、入力設定をVGAに設定している場合のみ選択可能です。
またPC入力を行っている最中はチャンネルメニューは選択できません。

PCメニュー

水平位置

画面表示の水平位置の調整を行います。

音量(◀/▶)ボタン

水平位置

50

左方向へ　右方向へ

チャンネル(▲/▼)ボタン

垂直位置

画面表示の垂直位置の調整を行います。

音量(◀/▶)ボタン

垂直位置

50

下方向へ　上方向へ

チャンネル(▲/▼)ボタン

クロック

表示している映像ににじみやちらつきが見られる場合にはクロックの調整を行って下さい。

音量(◀/▶)ボタン

クロック

50

チャンネル(▲/▼)ボタン

フェーズ

表示している映像ににじみやちらつきが見られる場合にはフェーズの調整を行って下さい。

音量(◀/▶)ボタン

フェーズ

100

チャンネル(▲/▼)ボタン

自動調整

画面表示の自動調整を行います。

音量(◀/▶)ボタン

自動調整を行います。

チャンネル(▲/▼)ボタン

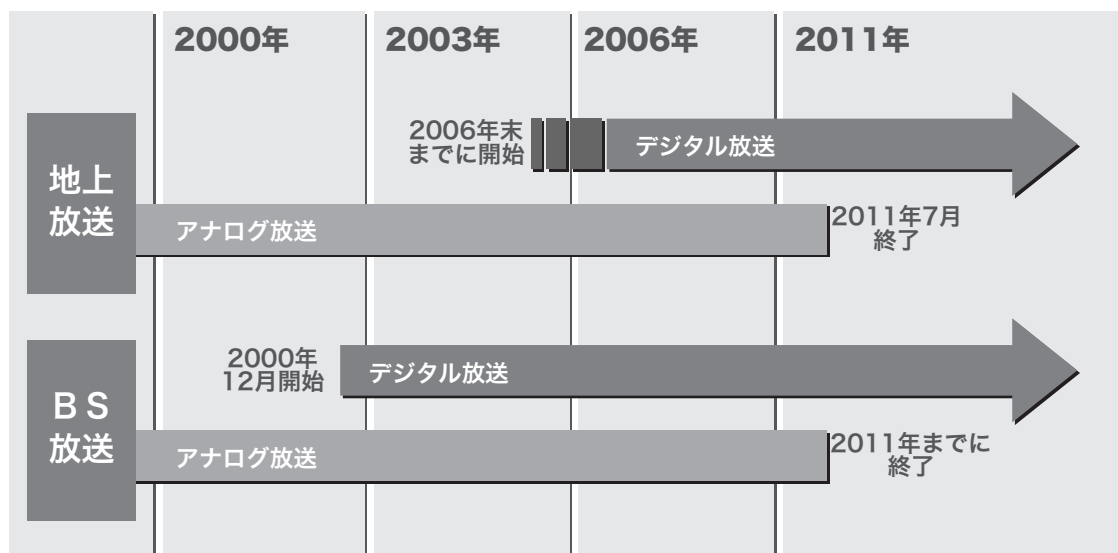
設定している入力ソースによって選択できるメニューが変更します。早見表で確認して下さい。

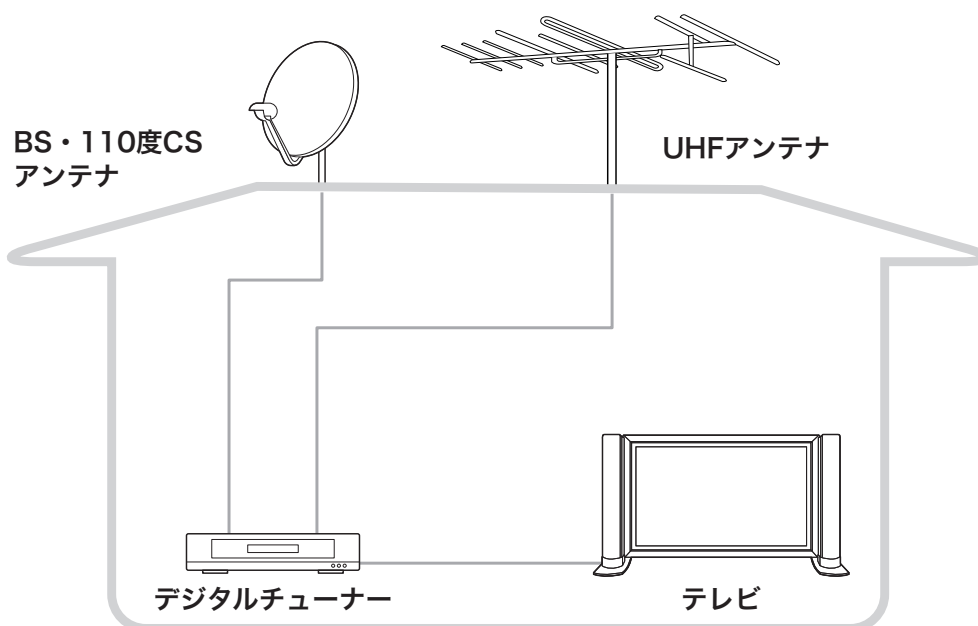
	映像メニュー	音声メニュー	PIPメニュー	システムメニュー	チャンネルメニュー	PCメニュー
TV	○	○	○	○	○	×
ビデオ1・2	○	○	○	△ ブルーバック ×	×	×
Sビデオ	○	○	○	△ ブルーバック ×	×	×
Y/Pb/Pr	○	○	△ 3DNR ×	△ ブルーバック ×	×	×
D端子	△ 色合い ×	○	△ 3DNR ×	△ ブルーバック ×	×	×
VGA	△ 彩度 × シャープ × 色合い × スケール ×	○	△ 3DNR ×	△ ブルーバック ×	×	○
HDMI	△ 彩度 × 色合い × スケール ×	○	△ 3DNR ×	△ ブルーバック ×	×	×

○ 選択可　△ 一部選択不可　× 選択不可

アナログ放送からデジタル放送への移行について

■ デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

■ アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することにより、デジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質や縦横比(アスペクト比)はテレビの種類により異なります。なお、受信にはデジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、ＢＳデジタル、110度ＣＳデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

故障かな?と思ったら

本製品が正常に機能しない場合は、こちらをお読み下さい。故障の原因と思われる内容とその解決方法を確認することができます。また、確認の上で解決できない内容がある場合は、保証書をお読みの上、販売店または株式会社ゾックスまでご連絡下さい。

故障と思われる内容・解決方法

■画像が表示されず、電源ランプが点灯しない

- コンセントがしっかり接続されているかを確かめて下さい。
- 本体の主電源が入っているかを確かめて下さい。

■チャンネルが表示されない

- アンテナ線がはずれていませんか？また、オートスキャンが行われているかを確認して下さい。読み込みが行われていない場合は再度オートスキャンを行って下さい(P.11参照)

■オートスキャン後チャンネル表示が異なる

- オートスキャンを行うとチャンネルが受信された順に1～12のチャンネル番号に登録されます。その際、受信される地域によっては、チャンネル表示が異なる場合があります。メニュー画面のチャンネルメニューからスワップの設定を行って下さい(P.12参照)

■音声が出ない

- 音量が最小になっていないかを確かめて下さい。
- 消音になっていませんか?(画面左下に消音マークが表示されていませんか?)
- 映像ケーブルが正しく接続されているかを確かめて下さい。
- 映像も音声も出力されない場合は、適切な入力が選択されているかを確かめて下さい。
- 映像ケーブルが接続されていない場合は音声も出力されません。

■音声が乱れる

- スピーカーケーブルは正しく接続されていますか?
- メニュー画面のPIP設定の3DNRの項目が高/中/低に設定されていると音声が乱れる場合がございます。

■リモコンが作動しない

- 電池が切れていませんか？付属のリモコン用電池は動作確認用になります。
- 電池の＋－が逆になっていませんか？
- 本体の受光部との距離や角度がひろがりすぎていませんか?
- 本体とリモコンとの間に障害になるような物があれば取り除いて下さい。

■映像が二重三重になる

- 山やビルなどからの反射電波などが考えられます。周囲の状況についてお調べ下さい。
- アンテナの位置、高さ、向きを調整して下さい。

■映像が乱れる

- アンテナ線がしっかりと差し込まれているかを確認して下さい。
- 他のテレビや、パソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器等や無線局等からの電波の混信が考えられます。
- メニュー画面のPIP設定の3DNRの項目が高/中/低に設定されている際に、画面に残像が残る場合があります。

製品仕様

液晶	液晶パネルサイズ	32インチ　16：9
	表示画素数	水平1366×垂直768 PC入力時：WXGA(最大1280×768)
	画面輝度	500cd/㎡
	コントラスト比	800：1
	視野角	上下170°/左右170°
	応答速度	15ms
	バックライト寿命の目安時間	60,000時間
	色	16,770,000色
チューナー	VHF/UHF	1〜62ch
	CATV	C13〜C63
入力端子	AV入力(RCAピン)	2系統
	S映像入力	1系統
	コンポーネント映像入力	1系統(Y/Pb/Pr)
	D端子	D4端子(1080i・720p)
	HDMI端子	1系統
	PC入力(D-Sub15)	1系統
	PC音声入力(3.5φステレオ)	1系統
出力端子	音声出力(RCAピン)	1系統(L/R)
スピーカー	音声最大出力	総合18W (9W+9W)
	コントロール	低音/高音/バランス
	3D(ON/OFF)	
外形寸法	1,050×200×560mm(幅×奥行×高さ)	
重量	23kg	
電源	AC100V	
消費電力	200W	
待機時消費電力	0.4W	

※本製品の仕様に関しましては製品改良の為、将来予告なく変更する場合があります。
※本製品はHDMI Ver1.1に対応しております。
※PCモニターとして使用する際は、パソコンの仕様により出力可能な表示画素数が異なります。
※液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素があります。
0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

製造元

ZTYPE

株式会社ゾックス
〒231-0033
神奈川県横浜市中区長者町3-8-13　ルネ関内プラザ304

ゾックスダイレクトショッピングカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル：0120-602-757
E-mail：zox-support@zox-net.com
URL：http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月〜金10時〜17時
※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。

中国製